事業所名　放課後等デイサービス　ともいくの森

支援プログラム

作成日　2024 年　12 月　1 日

法人（事業所）理念	「共に学ぶ」　～集団生活の中で、多様な遊びの場を提供し、生きる力を育みます～ 「共に活動する」～自助・共助・公助の力を合わせて地域における絆やつながりを築きます～ 「共に生きる」　～望む生活を自ら選び、自ら決定し、実現できるよう支援します～				
支援方針	・私たちは、総合支援型放課後等デイサービスの提供をするに当たって、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」「人間関係・社会性」の5領域全てを組み合わせた支援を行い、学童期・思春期での発達支援に重要な要素である「自己肯定感」、「達成感」、「仲間形成」、「孤立の防止」等、利用者の身体及び精神の状況、並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導訓練を行います。また、利用者の意思決定支援に配慮しつつ、個別支援計画を作成することに努めます。 ・事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、関係市や他の放課後等デイサービス事業者、その他保健・医療・福祉サービス機関（児童相談所・相談支援事業所等）との連携に努めます。 ・私たちは、放課後等デイサービスの提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者又は保護者に対し、支援上必要な事項について理解しやすいよう説明します。 ・私たちは、自己評価表を用いて提供する放課後等デイサービスのサービスの質の評価を行い、常にその改善を図ります。				
営業時間	平日　10　時　0　分から　19　時　0　分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし　送迎場所により、送迎有無については応相談		
営業時間	長期休暇　9　時　0　分から　18　時　0　分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし　送迎場所により、送迎有無については応相談		
	支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	・保護者からの連絡や学校からの引き継ぎ、来所時の体調や表情等の観察を通じて、心身の把握を行います。 ・定期的に通所するという生活リズムが形成され、安心して過ごし、安定して活動に取り組むことができる環境の構築に努めます。 ・視覚的に「何があるか」「何をするか」等を分かりやすくするために、絵や写真カードを活用した声がけ等を行い、構造化を意識した支援を行います。 ・身の回りを清潔にし、手洗いや身支度、食事、排泄等の生活に必要な基本的な動きに関して、時間をかけて一緒に練習していきます。			
	運動・感覚	・視覚や聴覚、触覚等の感覚を活用できるような遊び（トランポリン、ボール、音楽、サーキット等）を楽しみながら取り組み、達成感を獲得できるよう支援します。 ・公園や施設での遊具を使った遊びや運動を行い、体幹や筋力等の維持・発達を図ります。 ・粘土遊びやブロック遊び、制作活動等を通じて、巧緻性の向上と感覚の認知形成を図ります。			
	認知・行動	・季節変化への興味等の感性形成を構築するため、外出等の屋外活動を行います。 ・少人数でのゲーム等の活動を通じて、行動形成や認知形成を図ります。 ・遊びの中で、物の名前や用途、色、大きさ、数（含む計算）などの理解ができるよう支援します。また、時計の読み方やお金の使い方等の日常生活に必要な練習を行います。 ・発達段階や特性に合わせて、身近な例をもとに考えるソーシャルスキルトレーニングを行います。			
	言語 コミュニケーション	・一人ひとりの特性に合わせて言葉だけでなく、身振りや手振り、絵カードやジェスチャー等の非言語コミュニケーションも活用して、言葉の発達やコミュニケーションの向上を図ります。 ・表情カードを使って自分の気持ちを伝えたり、ロールプレイングを行うことにより、生活の中での事柄に対処する行動を養います。 ・個別や小集団での個々の特性に応じた読み書き等の学習活動に取り組みます。			
	人間関係 社会性	・本人の意思を尊重しながら、個々の遊びから職員との遊び、集団遊びへと移行させていくことにより、自己理解と他者理解を養います。 ・小集団遊び（玩具を使っての遊びやカードゲーム等）をしたり、ソーシャルスキルトレーニングに取り組む中で、他者との関わり方を学ぶ環境を提供します。 ・実際に起こった場面をもとに、「この場合はどうしたら良かったと思う？」等、気持ちのコントロールや切り替え、折り合いをつける練習を行います。 ・地域の施設等の見学や公園での活動を通じて、ルールやマナーを実践的に学び、身につけていきます。			
家族支援	・送迎時に事業所やご家庭、学校での様子を共有する時間を設けるとともに子育てに関する困りごと等を随時受け付け、速やかな対応を行います。	移行支援	・保護者、学校や相談支援事業所等の関係機関との情報共有・連携を行い、障害特性を踏まえた上で具体的な移行を見据えた支援目標や支援内容の設定を行います。		
地域支援・地域連携	・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 ・本人に変化等があれば、必要に応じて学校や相談支援事業所等と連携を取ります。	職員の質の向上	・毎日、支援の振り返りを行い、より効果的な支援について共通理解を図り、実践に反映させています。 ・職員の専門性を高めるための事業所内外での研修に参加しています。		
主な行事等	・常時活動：近隣施設や公園へのお出かけ、おやつ作り、近隣コンビニ等でのおやつの買い物、お誕生日会、季節に合わせた制作（毎月1回） 避難訓練（2ヶ月に1回）、交通安全教室（年2回） ・季節行事：お花見、夏祭り、ハロウィンやクリスマス会、進級卒業お祝い会　長期休み：クッキング、水遊びやプール遊び、動物園や水族館等遠方へのお出かけ等 ・保護者会（年2回）				